

ともに

第77号

発行日：令和4年7月
編集：法人本部事務局



社会福祉法人 ひかりの園



第二静光園

目次

第二静光園 40 周年特集	2～5	2022 年度法人研修大綱 他	9
コロナ禍が明けたらまずしたいことは？	6～7	こもれびの家「しまうま倶楽部」のご紹介	10
永年勤続者表彰	7	私たち、ひかりの園の職員です。	11
外国人留学生紹介・新施設長紹介	8	支援のワンポイント	12

不登校の子どもたち 相談支援事業所まで



文部科学省による2021年の調査によると、小・中学校における不登校の児童生徒数は19万6,127人と過去最多となっています。病気や経済的な理由や新型コロナウイルスの感染回避などで長期欠席している子どもを含めると、学校に行くことができていない子どもは28万7,747人で前年より13.8%も増加しています。高校での不登校生徒数は43,051人になっています。こちらも増加傾向です。

不登校の要因は「学校」「家庭」「本人」に分類されますが、一方だけに原因があるのではなく複合的に絡み合っているケースがほとんどです。「学校」の要因としては、いじめ・友人との関係性・教師との関係性、進路や受験の不安・校則への不適応などがあげられます。「家庭」の要因では、親との別離不安・家庭の経済状況・家族の生活習慣などです。「本人」の心身の要因としては無気力・生活リズムの乱れが代表的ですが、ひどい低血圧で朝起きられないなどといった不定期な体調不良の場合も不登校の原因になることがあります。

また、知的障がいがある場合、知的障がいではないけれど自閉症スペクトラム障がい（ASD）・学習障がい（LD）・注意欠陥多動症（ADHD）などの発達障がいがある場合、神経症、うつ病などで学校への不適応が起きる場合もあります。子どもの障がいや特性による生きにくさに対しては、学校にも合理的配慮が求められ、決して「本人」だけの要因と言えません。障がいに対する学校や関係者の理解不足や配慮に欠いた誤った対応が不登校のきっかけになる場合もあります。

国は2016年に、不登校の子どもに、学校外での多様な学びの場を提供することを目的とした「教育機会確保法」を施行しました。不登校児童・生徒の無理な通学はかえって状況を悪化させる場合があるため、子どもたちの「休養の必要性」を認め、学校復帰を大前提としていた従来の不登校対策を転換し、学校外での民間のフリースクールや公立の教育支援センター（適応指導教室）、配慮された教育課程をもつ不登校特例校など、学校以外の教育機会を確保する施策がすすめられています。放課後等デイサービスも不登校の子どもの居場所の確保や学習支援などにも取り組んでいて、地域には学校外にも子どもの多様な学びの場が生まれています。

こうした取り組みを浜松市でも行っております。子どもの不登校についての相談や教育相談の窓口は、浜松市教育総合支援センター（053-457-2424）です。障がいのある子どもの場合は、浜松市教育総合支援センターの他にも浜松市障がい者相談支援センター（市内5所）で相談を受けつけています。

なお、「相談支援事業所まで」でも、必要な機関への情報提供を行っておりますので、ご利用ください。（053-570-1312）

社会福祉法人 ひかりの園の概要

理事長 川島順三
法人本部 事務局長 太田敏明
〒433-8108 浜松市北区根洗町 681-5
TEL(053)437-8289 FAX(053)430-0819
Eメール info@hikarinosono.or.jp

特別養護老人ホーム 静光園 園長 栗本昌紀 ☎ 053-445-1300	児童発達支援センター 浜松市根洗学園 園長 松本知子 ☎ 053-436-9318	生活介護 こもれびの家 所長 上甲俊介 ☎ 053-439-8235	グループホーム ラポール根洗 寮長 坂中夕也 ☎ 053-420-1325	グループホーム コムニオ湖東 寮長 杉山早百合 ☎ 053-485-4600
養護老人ホーム 第二静光園 園長 柏原栄作 ☎ 053-428-3128	児童発達支援センター 子ども発達センター たつく 園長 西尾崇嗣 ☎ 053-485-6122	生活介護 工房めい 所長 美和勇一郎 ☎ 053-430-4710	グループホーム すてっぷ 寮長 大橋正季 ☎ 053-570-1702	
特別養護老人ホーム 第三静光園 園長 家現多加志 ☎ 053-436-8888	生活介護 根洗作業所 所長 平野貞裕 ☎ 053-436-5529	生活介護 工房ゆう 所長 鈴木秀明 ☎ 053-570-1310	グループホーム こもれび 寮長 今田博貴 ☎ 053-439-6800	
小規模多機能型居宅介護事業 なごみの家 管理者 和久田勝教 ☎ 053-445-1753	生活介護 青葉の家 所長 藤井良之 ☎ 053-570-1700	障害者支援施設 浜松協働学舎根洗寮 寮長 大橋奈実世 ☎ 053-430-0596	相談支援事業所 まど 所長 鈴木宏幸 ☎ 053-570-1312	



ひかりの園ホームページ
<http://www.hikarinosono.or.jp/>

編集後記



工房めい 花田 亜弥

初めて「ともに」の編集に携わらせていただきました。今年度は第二静光園が40周年を迎え、社会福祉法人ひかりの園が50周年という節目の年です。皆様と「ともに」歩んだ道を振り返り、また新たな歳月を刻んでいきたいと思ひます。

第二静光園40周年特集

「第二静光園創立40周年に寄せて」



特定非営利活動法人
全国盲老人福祉施設連絡協議会
理事長 中村 秀一

第二静光園は静岡県唯一の視覚に障がいをお持ちの方が生活される養護老人ホームとして設立され、この度40周年の大きな慶事を迎えられました。誠におめでとうございます。

設立当初から関係されている方に加えて、日々のホーム運営、季節ごとのホーム内外の行事や活動を通じて関係された方など、多くの関係者の皆様のご精進によつて今日に到った事とご拝察申し上げますと共に、法人の理念「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を体現された40年

ありました。

さて、急速に進む高齢社会に対応すべく福祉に関わる政策、サービスも多様化しております。貴園の盲老人福祉事業は視覚に障がいを持つ高齢者への福祉サービスという専門性が極めて高いものと評価されております。その専門性の研鑽にあたりまして、全国盲老人福祉施設連絡協議会の行う研修等にも積極的に参加頂いております。これから更に多様なサービスが求められてくる中において、会員施設と共に盲老人福祉の専門性を高め、視覚に障がいを持つ高齢者の皆様に安心を与える事を期待しております。

ご挨拶

園長 柏原 栄作

この度、第二静光園（定員50名）はお陰様で創立40周年を迎えることができました。これもひとえにご利用者、ご家族、地域の皆様、関係機関の方々のご協力のおかげと、深く感謝いたしております。

第二静光園の開園式感想文

渡邊 吉弘



40周年にあたりまして、ひとこと申し上げます。大変良い雰囲気の中で、行われたことをとても幸せに思います。家族ならびにご利用者の皆さん今後ともよろしく願います。

40周年を迎えて

林 たつ



私が、ここに入所してもう20数年になりました。多くの方との出会いと別れがありました。行事も外で催されたものに、中庭での運動会、一泊旅行など懐かしく思い出されます。困った時に職員さんや利用者さんに助けられたり、話を聴いていただいたことは、ずっと忘れないと思います。この先も安心して楽しく過ごさせていただけることを願っております。

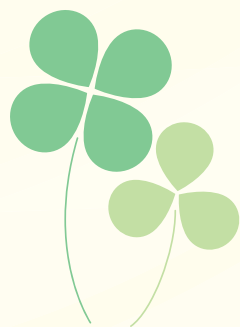
ご利用者の声

4月9日（土）



開園記念式典
利用者代表挨拶 より

今日は私たちが安心して生きられるお城、このあたたかい第二静光園の開園記念日です。それもなんと40周年とは！こんなに重なった祝い事に出会えるなんて、私たちは幸せです。祝いの言葉富士の山ほど積み上げて、足るものはありません。人の心は深いものだと思います。どうぞこれからも静光園特有の温かさで、いつまでもと私たちはお祈りしております。



第二静光園は、静岡県で唯一の視覚に障がいがある方が生活されている養護老人ホームです。施設は、昭和57年4月12日に関係者の皆様の全面的なご支援を得て、事業を開始いたしました。

静かな環境にあり、ふれあいを大切に、心豊かに安心して生活していただけますように努めています。たとえ介護や支援が必要となっても住み慣れた地域社会で生活が送れるという在宅介護支援を主目的として、今日まで職員一同、地域に開かれた施設作りを行いつつ、ご利用者の皆様お一人おひとりに満足のいただける質の高いサービスの提供に努めてまいりました。

また昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ご利用者や職員の生命・身体の安全を確保するため、面会制限の対応をさせていただき、ご家族、ボランティアの皆様方には大変ご不便・ご迷惑をお

今思う事

望月 直次



私は平成7年65歳になる年に入所しました。清水にいる頃に女房を亡くし、10年ほど皆さんや郵便局の局長さんなどにお世話になり暮らしました。借り家の建て替えの話があり出て行かなくてはいかなくなって、盲会（現視覚障害者協会）の事務所に相談し、第二静光園に来ました。

31歳で盲学校を卒業し、30代からお酒も飲み、ここに来てからも酒を飲むのが楽しみでした。旅行も行きました。本当に晴眼者がいるとちよつとしたことでも本当に助かります。今年で94歳。これからもできることなら、旅行に連れて行ってもらって、温泉にゆつくりつかりてえなと思います。



第二静光園の始まり

故 佐藤三四二元第二静光園園長

1972年社会福祉法人ひかりの園は4人の準備委員によって設立されたと聞いています。カトリック浜松教会のフォンテノー神父様、旧浜松盲学校の理療課教員の平出先生、同じく養護教諭の平野先生そして、前理事長の山田先生は、浜松市内初の特別養護老人ホームの開設に向けて本格的に作業を始められたそうです。事務所は、当時は成子町の小高い丘の上にあったカトリック浜松教会の建物の地下の一室だったと聞いています。



盲学校関係者が二人もおられたのは、当初は盲老人ホームの建設を目指して活動を始めためでした。ところが当時の行政事情でまずは特養をとの強い要請もあって静光園の誕生ということになったわけです。私は、静光園が新館を増設し90名定員に増床になった時に理療士として採用していただ

きました。

特養と言っても当時は、今でいうところの要支援や要介護1程度のご利用者も3分の1ぐらいいましたので、私はそのような中でマッサージやご利用者の話し相手などを主な業務としていました。

あの頃は、ギャッジベッドと言っても手回しで背上げをするものでしたので、食事の時間になると現場の人たちは各部屋を回って中腰になりハンドルを回してベッドを起こすのも重要な仕事でした。私も随分手伝わせてもらいました。

元氣なご利用者もかなり大勢おられたこともあり、芝生の広場でパターゴルフをしたりご利用者と職員と一緒に盆踊りをしたりもしました。

1982年先人の方々の念願だった盲老人ホーム第二静光園が完成し県内各地から視覚障がいがある高齢者の皆さんが入所できるようになりました。県内唯一の施設ということでも当初は、入所待ちをされている方が随分おられたようです。私も当事者の立場では是非第二静光園で働きたいと異動の希望を出しました。

1986年に開所した第三静光園のデイサービスセンターの理療士を経て1993年念願の第二静光園の生活相談員への異動が叶いました。同じ障がいを持つ先輩の皆



さんのために同僚職員と一緒に働けることの幸せを感じる日々でした。

加盟団体である全国盲老人福祉施設連絡協議会が主催する職員研修会の受け入れ準備のため、帰宅が毎日

夜8時を過ぎることもありました。

中庭の芝生に莫塵を敷いてご利用者と当日出勤のほとんどの職員が車座になって話をしたり歌を歌ったりしてくつろいでもらいました。

生活相談員として定年退職して7年ほどのブランクのち、第二静光園の施設長という大役をおおせつかることとなり、私なりに精一杯働かせていただいたつもりです。この間、高齢者福祉の変転ぶりは私の入社当時には予想もつかないものでした。そのような中、何とか頑張ってこれたのも同僚職員の温かいご協力と諸先輩方のご指導ご支援がいただけたからこそと感謝しています。

最後にひかりの園が地域の福祉の中心的役割を果たしつつ発展されることを陰ながら願っております。

『これから』

園長 柏原 栄作

昭和57年4月に開所してから40年後、私たちの生活が一変するほどの感染力の強いウイルスが世界中に広がるとは一体誰が予想したでしょうか。今後も私たちの周りでは様々な想定を超えることが起こるでしょう。

第二静光園も40年前には現在のご利用者の生活を私たちは想像が出来ませんでした。それは、ご利用者の重度化や、認知症の方等様々な方のご利用です。その中で、多くのご利用者の方に喜びと満足をもって生活をして頂ける支援とは一体何かと考えると、法人訓の「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を実践することだと思います。ご利用者の立場に立ちご利用者に寄り添って、未来に向かって共有共感し、あるがままのその人をうけとめ生活を支援してゆくことです。そして、共にご利用者と人生を歩む支援を実践することだと思います。

支援とは、人と人とが支え合うことです。一緒に歩むためには、ご利用者と職員との良好なコミュニケーションが必要です。ご利用者とのコミュニケーションは、言



葉と支援を通して行われます。これから40年後、50年後に生活様式が変わっても、ご利用者の喜びや苦しみを自分のものとして分かち合い、一人ひとりと信頼関係を築いてゆくことが、第二静光園で生活するご利用者の生活を守り続けることだと思います。



新入職員 のことば

「コロナ禍が明けたらまずしたいことは？」



どこか遠くへ
旅行に出掛けたい

第三静光園 横山 舞子



旅行に
行きたい

第三静光園 松原 勝子



家族旅行

に行きたい！
工房ゆう 河村 陽子



家族でディズニーランドに
行きたい！



根洗作業所 池田 真理子



家族で
旅行に行きたい

第三静光園 武内 初奈



みんなでキャンプ♪

根洗学園 丸尾 菖



仙台の牛タンと
池袋の油淋鶏を
食べに行きたい。



第二静光園 石塚 雅治



旅行に行き、色々な
土地の美味しい
料理を食べたい。



第二静光園 長谷 洋次



カフェ巡りに
行きたい!!!



根洗学園 高田 末美

ひかりの園 職員数

男性 113 人

女性 439 人

合計 552 人
(令和 4 年 6 月現在)



家族、愛犬小梅と
旅行に行きたい。



第二静光園 飯田 有美



コロナが明けたらまずしたい事
旅行に行きたい!!!



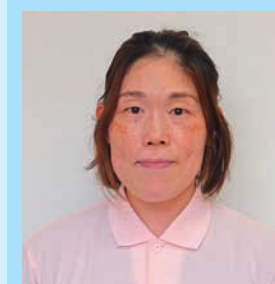
静光園 伊藤 健渡



旅行に
行く事!!



静光園 増田 里香



日本全国、海外に旅
行に行きたいです。



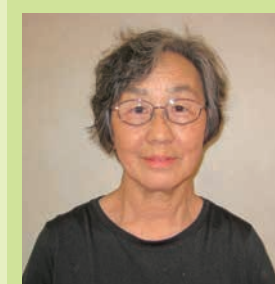
静光園 横井 千晴



「彼女を作って旅行
やカラオケに行き
たい!」



静光園 大垣 亨介



何よりも、「マスクを外
し口腔体操、嚥下体操
をした」それが一番し
たい事かな

なごみの家 木宮 美音子

2022年度 永年勤続表彰対象者

10年

静光園

第三静光園

根洗学園

協働学舎

名倉 良子 岩瀬 千恵美

青木 千恵 鈴木 ちづ子

井口 良子

池野 実佳 宮司 初美

大石 哲也 池谷 美穂

小杉 美樹 太田 祐子

鈴木 由貴 鈴木 里美

小田 実花

20年

静光園

第二静光園

協働学舎

藤田 ユキ子 米澤 公子

鈴木 乃ぞみ 豊盛 己奈

尾嶋 美美子 西村 利子

西山 しげ子

峰野 智恵子

鈴木 秀明 河合 由紀子

社会福祉法人 ひかりの園

2022年度法人研修大綱

2022年度の法人研修につきまして、以下のように開催いたします。
詳細につきましては、別途研修開催要綱を都度事業所宛に送信いたします。
キャリアパスのための大切な研修です。職員の積極的な参加促進をお願いいたします。

日 程	研修内容
4月1日 金曜日 8:30～17:30	法人基礎研修（一次）（施設紹介・辞令交付・接遇マナーその1） 法人内講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール （新入職員及び希望職員）
6月17日 金曜日 13:00～17:30	（ステップ1）「OJT 講座」 法人内講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール （主に新入職員を教育する側になる職員向け）
8月27日 土曜日 10:00～12:00 14:00～16:00	合同研修・50周年記念行事 AM「研究発表（静光園・根洗学園・工房めい） PM「50周年記念式典」 場所：浜松市教育会館 （全ての職員向け）
9月16日 金曜日 13:00～17:30	（ステップ3）「フレームワーク研修」 ツクイ講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール （主にリーダー職員向け）
10月7日 金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00	法人基礎研修（二次）（接遇マナーその2） 法人内講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール 同日2回開催。勤務都合によりどちらかを選択。 （新入職員及び希望職員）
11月18日 金曜日 13:00～17:30	（管理職研修）「定着力面談スキル研修」 ツクイ講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール （管理職員向け）
1月13日 金曜日 13:00～17:30	（ステップ2）「ファシリテーション研修」 法人内講師を予定 場所：第三静光園かわせみホール （主に現場をまとめる側になる職員向け）

※ステップはあくまでも新規入社の方に向けになります。既存職員は適宜受講をお願いします。

2021年度 苦情内容等施設別報告

◎苦情（要望・提案等を含む） 受付状況（2021年4月1日～2022年3月31日）

内容	静光園	第二静光園	第三静光園	根洗寮 (ラポール)	青葉の家	こもりの家 (こもれび)	すてっぷ (ぱれっと)	工房めい	工房ゆう (コムニオ)	まど	根洗学園	たっく
説明・情報提供不足				1	1							1
手続きの方法の不明												1
サービスに内容	1(なごみ)		2		1	1	こもれび1			1	1	1
職員の言葉・態度									1		5	
権利侵害												
被害・損害								2				
利用者のトラブル												
環境の問題				2								1
その他												
合計	2	0	2	3	2	1	1	0	2	1	6	4

今年度のひかりの園決算書・現況報告書・役員名簿・役員報酬規程などご覧になりたい方は、当法人ホームページ（アドレス）「<http://www.hikarinosono.or.jp/>」または、インターネットの検索ページにて「ひかりの園」を検索し、トップページの一番下にある「外部リンク」のバナー「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」よりダウンロードしてご覧ください。
また、定款等につきましては「ひかりの園とは」→「新着情報」かまたは、「全ての新着情報を見る」にてご覧ください。パソコン等の設備がないなどの場合は、当法人本部「浜松市北区根洗町681番地の5（要電話連絡053-437-8289）」までお越しください。

第二静光園 苦情 相談等の報告 2021.12～2022.5 特にありませんでした。

ひかりの園後援会		
いとうきか 行政書士事務所	奥村喜代子 (株)アマノ	平澤 道好 フジ産業(株)
フジ産業(株)	(株)アカデミー	藤本 修子
山名 輝明	(株)エムズレイズ レイズ薬局	堀内 孝修 毎日企業(株)
和田ちよ子	初生店	村井 浩子
榊原 伸泰	(株)静岡銀行	村田 昌之
須山建設(株)	三方が原支店	山下 歩
相曾 太	(株)鈴木電工	山本 博志
秋山不動産(株)	河合 隆	和久田敏郎
新屋 裕三	黒柳 雅之	渡邊はま子
井口 厚	後藤 健二	(株)飯尾建築設計 事務所
井口 郁子	鈴木 進	(株)遠興
池谷 敏男	田村 勇次	(株)大建
伊藤 元文	筒井由紀子	御手洗幸江 (株)山三商事
内田 晴行	徳井 等	
エネジン(株)	永井 均	
太田ひろ子	長谷川敏夫	
大村 昌弘	八谷 文代	
岡田 芳江		

この他、お名前のご掲載を希望されなかった方々から
も多くのご寄附をいただいています。

新施設長紹介



子ども発達センターたっく
施設長 西尾 崇嗣

日頃より、地域の皆様のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
子ども発達センターたっくは、大久保町にて子どもたちの児童発達支援施設拠点として開所して9年目を迎えました。
10年という節目の年が近づく中で、2022年4月から「子ども発達センターたっく」の施設長になりました。今後とも地域の皆様のお力をお借りしながら、今できること・今後やるべきことを明確にし、西区の児童発達支援施設としての役割を意識し、職員全員で取り組み一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



相談支援事業所まど
所長 鈴木 宏幸

日頃より、地域の皆様には多大なご支援・ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして、心から厚くお礼申し上げます。
令和3年4月1日より、相談支援事業所まどの所長として就任いたしました。
微力ではございますが、誠心誠意ご利用者・ご家族に寄り添う相談支援に心がけ、地域の皆様の信頼を得られる事業所づくりを目指してまいります。
何卒、皆様の温かいご支援とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



外国人留学生紹介



私はイレシャ・マドゥシャニと申します。
2020年10月、スリランカから参りました。私の将来の夢は、介護福祉士になることです。
「おしん」と言うドラマを見たことがきっかけで日本に興味を持ちました。
日本に来てから1年半位、浜松日本語学院で勉強していました。4月からは浜松未来総合専門学校の国際介護福祉科で勉強をしています。
私は日本が好きなので、日本に長く住めるような仕事がしたいと思っていました。私の先輩が介護という学科があると言っていました。スリランカにはそのような仕事が無かったのでよく分かりませんでした。
介護の仕事は特別な仕事だと思います。例えば、お年寄りを手伝うことは大変ですが、とても喜んでもらえるので私自身も嬉しくなります。お年寄りと一緒にいる仕事をするのはとても楽しくとても幸せです。



メリー・グレース・プレス・カヤゴです。
フィリピンのマニラから参りました。
友達からは「グレース」とか「グラシャ」と呼ばれています。皆さんもよかったら「グレース」と呼んで下さい。
日本に来て1年半になります。
弟が日本に来たことがきっかけで私も日本や日本語に興味を持つようになりました。
趣味は、映画鑑賞と音楽を聴くことです。
4月から浜松未来総合専門学校の国際介護福祉科で勉強しています。
フィリピンでは大学で看護の勉強を3年して



いました。
子供の頃に、よくおじいさんとおばあさんのお世話やお手伝いをしていました。
学校を卒業したら、介護者として日本の施設で働きたいです。介護の言葉を沢山覚えて介護福祉士の資格を取るために頑張ります。
宜しくお願いします。

私たち、ひかりの園の職員です。



子ども発達センター
たっく
寺澤 和美

子ども発達センターたっくの開所当初より勤め始め、現在で9年目になります。今年度は、子どもたちの療育、保護者との面談やお話し会、園や学校、保健センター、相談支援事業所等との関係機関連携などの仕事に携わっています。発達相談や療育の仕事は、新しい発見や学びが多く奥が深い仕事だと感じています。

以前は、休日という仕事の本来の楽しみや、療育の内容をあれやこれやと考えることが多く、仕事が趣味でした。息子たちが、進学のため一人暮らしを始め、子育てがひと段落ついた時、仕事以外にこれといった趣味がないことに気付き、趣味を見つけないとアンテナを立てました。ピラティス・キャンプ・アウトドアクッキング・ノルディックウォーク・リバーSUPに今、はまっています。今は、休日は川や山、自然の中で過ごす時間が増えました。趣味に没頭できることは本当に楽しく感じます。これからも仕事でもプライベートでもいろいろなことに挑戦し、新しいことを発見したり、ワクワクをたくさん見つけていきたいです。



根洗作業所
北川 恵

根洗作業所に勤務して4月で3年が経ちました。前職は保育園で保育士として働いていました。その中で障がいのあるお子さんとの関わりを通して学んでいくうちに、障がいのある方の支援に携わりたいという気持ちが強くなり、新たな道へ進むことを決めました。

根洗作業所では知的障がいのあるご利用者の日中活動の場として生活介護の事業を営んでおり、私は生活支援員としてご利用者の支援をしています。「働くことを通じて社会に参加する」を合言葉に、主な活動としてクッキーの生産と下請け作業を行っています。私は下請け作業の担当をしており、ご利用者の方々と一緒に自動車部品のバリ取りや組み付け、メラミンスポンジの袋詰めなどの作業を行っています。ご利用者にはそれぞれに得意な作業があり、皆さん慣れた手つきで職人さんのようです！どんな作業をこなしていくので一見簡単そうに見えますが、いざ自分がやってみると難しい…なんてことも多々あって本当に尊敬してしまいます。

プライベートでは若い頃から旅行へ行くことが好きです。自分で計画を立て、独身時代には一人旅へ出掛けることもありましたが、家庭をもってからは年に一回は旅行へ出掛けることを楽しみにしていましたが現在はコロナ禍となり、ここ数年は旅行に行くことができません。YouTubeで観光地を視聴し、行ったつもり旅行をしています。夢は全都道府県を制覇することです。まだ3分の1程度しか行ったことがないので、これから計画を立て、いつか行ける日を楽しみにしながら、今はご利用者の皆さんと充実した毎日を過ごしていきたいと思っています。



なごみの家
和久田 勝教

静光園を1度退職し、再びなごみの家で働き始めて7年が経ちました。

他の法人で様々な施設を経験することで私も色々学びました。介護は奥が深いので、自分の気持ちややり方次第で高齢者の生活の質が向上することに、とてもやりがいを感じています。勿論、大変なことや辛いことも沢山ありましたが、このやりがいを感じられたことで介護以外の仕事に就こうとは思えず25年も続けてくることが出来ました。

小規模多機能は、自宅で生活している方を多面的にお支えする必要があります。在宅生活を少しでも長く継続出来るようにするためには、高齢者自身だけのことに限らず、ご家族のレスパイト（休息）にとっても重要な役割を担っています。

最近は独居の高齢者もとても多く、職員全員の知識と経験を生かしながら、地域資源の活用も行うことでその方の生活をお支えています。やればやっただけの充実感を感じられるため、私にとって小規模多機能は正に働き甲斐のある施設でもあります。

以前は楽器の演奏などもしていましたが、あまり趣味と言える物がなく、友人と共に好きなバンドの演奏を聴きにライブハウスへ行くことが唯一の楽しみでもありました。しかし、新型コロナの影響でそれも出来なくなってしまいました。

コロナが収束したらまずはライブハウスやフェスに行き思いっきり楽しんで来たいです。



寄付

生命保険協会静岡県協会
浜松地区様
ありがとうございました

第二静光園では、車椅子一台のご寄贈をいただきました。足腰の不自由になったご利用者の暮らしに必要な車椅子を、大切に使用させていただきます。



店舗『しまうま倶楽部』のご紹介



2021年8月に移転が完了したこもれびの家。店舗のしまうま倶楽部も開店して半年以上が経ちました。月に一度「しまうまマルシェ」を開催しています。地域の皆様と交流するという試みで、キッチンカーや作家さんを招いて毎回大盛況です。ご家族やご利用者の楽しそうな姿に癒されています。店舗内では自主製品のほか、こだわりの食品なども取り扱っています。是非ご来店ください。

